

社会の波と共に歩む

終わらぬ戦争、感染症への脅威、人口減少、経済活動の不透明さ… このような社会の波に遭遇しながら、私たちは21世紀に入って最初の100年の四分之三を過ごそうとしています。社会が変われば、人の心にも変化が表れます。同時に人の心に呼応して社会も変貌していくのです。西暦2100年にはどのような社会になっているのか、想像を膨らませながら、今を生き抜く智慧をご一緒に考えます。（仲野好重）



なかの よしえ

講師 一般財団法人 人間塾 代表理事 **仲野好重**会場 **都ホテル尼崎 すいせん**定員 **70名** 時間 **13:30~15:30**受講料 会員 **9,000円(全3回)**非会員 **5,000円(1回)**

アクセス

- ・阪神尼崎駅 徒歩6分
- ・JR尼崎駅から市バス「尼崎文化センター」下車
- ・阪急塚口駅から阪急バス「尼崎総合文化センター」下車



MAP



兵庫県尼崎市昭和通2-7-1

第1回

6/8 土 13:30～ 科学と精神性の交わり

科学の発達のもと、IT産業の隆盛、AIの労働市場への参入と、人間の想像力や思考力をはるかに越える存在との共存が現実的に進んでいます。これからの社会を考える時、科学と人間の精神性はどのようなかわりがあるのか。この二つの事柄は一致するところがあるのかをご一緒に考えます。

第2回

9/7 土 13:30～ まずは相手を知ることから

いつの時代においても異彩の魅力を放つドストエフスキー。死を予感する中で、書き進められた彼の著作から、ロシアという一筋縄ではいかない国の精神性を探ってみたい。一向に終わることのない戦いの原動力は何か？この社会の波と共に生きる私たちにとって、『カラマーゾフの兄弟たち』の言葉は何を意味するのかをご一緒に考えます。

第3回

12/7 土 13:30～ 日本社会に潜在する霊性哲学

近代社会以降、日本においては、さまざまな宗教とイデオロギ（主義）が流入し、独自の成長を遂げてきた。測定可能な結果（試験など）が望ましいことを願って、神社仏閣に赴き、目に見えない神仏に手を合わせる。これは、ある種の矛盾と葛藤を生じさせる状況であるが、多くの人々は疑問を感じない。日本社会における精神性の内奥に存在するものについて、ご一緒に考えます。

お問い合わせ・お申し込みは下記のいずれかをお願いします

FAX 03-6272-6148 **E-mail office@ningenjuku.or.jp**

FAXでお申し込みされる場合は、下記のフォームにご記入の上うえ、切り取らずにそのまま送信してください。

E-mailでお申し込みの方は、お名前、ご住所、お電話番号、会員・非会員をご記入のうえ、お送りください。

フリガナ

名前

携帯番号